

連盟ニュース

3 2 1

神奈川

10

2011.10.11



『紅葉と秋空』北アルプス・徳本峠にて 撮影：鳥越章夫(<http://tory.com/>)

東日本大震災支援ボランティア募集の案内
「セルフレスキュー」講習のお知らせ



神奈川県勤労者山岳連盟
〒221-0822 横浜市神奈川区西神奈川1-18-2 永田ビル3階
TEL/FAX 045-434-2726 <http://www.k-rouzan.net/>
発行責任者 後藤 真一
振込先 郵便局 世界貿易センター内局 #00290-9-15228
他金融機関からは 029店 当座0015228

10月号(321) 目次

《東日本大震災支援活動に関する取り組み》	
支援ボランティア募集の案内11/3-6	3
東日本大震災支援 女性ボランティア隊に参加して	山ブキの会 青柳百合子 4
東日本大震災支援 労山女性ボランティア隊報告	磯部津輝子 5
《会山行紹介》	
カモの会 北アルプス槍穂周辺集中に合わせて...	
表銀座縦走 中房温泉～燕～大天井～槍～上高地	カモの会 井戸 7
《お知らせ》	
「セルフレスキュー」講習のお知らせ11/6	救助隊 6
《報告》	
関東ブロック役員交流会9/24	増田 徹 10
第14回労山自然保護講座9/17-18	県連自然保護委員長 大用ユキ子 10
第18回全国ハイキング交流集会9/17-18	ハイキング委員会：清藤秀子 11
2011年度 臨時総会報告	12
9月自然保護委員会報告9/26	みずなら山の会 関根さち子 9
9月度常任理事会報告9/5	14
10月度常任理事会報告10/3	15
9月事務局長会議議事録	13
2012年カレンダー申し込み受け付け	事務局 16
神奈川県勤労者山岳連盟各会の活動報告と予定 17	
川崎労山、川崎HC、川崎柴笛、AC横浜、横浜HC、こぶし、藤沢山の会、相模AC、みずなら、カモの会、雪童、やま++、山ブキ、M&C	
登山時報10月号紹介/ナマステメールvel 38	19
県連のスケジュール/全国会議行事予定	20

(丹沢大山)自然再生シンポジウム10/30

案内は9月号をご覧ください

全国自然保護担当者会議・日光11/19-20(詳しい情報未収)

講演・大雪山の花園は今 / NPO法人アース・ウィンド

案内は9月号をご覧ください

事務局より

「月刊かながわスポーツ」を県連のHPに、UPしました。

IDとパスワードを設定していますので、事務局まで申し出下さい。



キンモクセイ 季節の花300より

東日本大震災支援ボランティア募集

神奈川県連自然保護委員会主催でボランティアを募集します。

県連として被災地へのボランティアを出していませんが、会や個人で被災地へ行かれた皆さんは「やっぱり、現地へ行って、見て、復興作業に汗を流さなければ、被害の深刻さはわからない」と考えていると思います。

今回、自然保護委員会からボランティア活動が提案され、県連の承認を得て、県連第1号のボランティア派遣となります。行きたくてもなかなか機会のなかった皆さんの参加をお待ちしています。現地へ、現地での移動はマイクロバスを利用します。20名乗りですので、定員になり次第締め切ります。

どうぞ、お早めに申し込んでください。

実施要綱

日 時 11月3日(木)～6日(日)

集 合 11月3日(木)午前7時 神奈川県民サポートセンター前

派遣場所 宮城県石巻市

スケジュール

11/3 7:00 マイクロバスで被災地宮城県石巻へ向かう。午後市内見学。

11/4 ボランティア作業

11/5 ボランティア作業

11/6 現地被災地を見学

支援内容 現地の石巻労山を通して、ボランティアセンターの指示でガレキ撤去などを行う。

宿泊場所 水沼東部構造改善センター (石巻市水沼字台畑34-1)

装備、注意事項

登山靴(安全靴)、雨具、スパッツ、着替え、作業用具(ゴム手、皮手、マスクなど)、シュラフ、マット、救急用品他
ボランティア保険は全員加入

申込先 県連自然保護委員会(三上) s-mikami@mpd.biglobe.ne.jp

問合せ 磯部(090-6104-4514)、青柳(090-9313-8964)

参加者ミーティング 10/24 19:00 県連事務所

申込要件

氏名(ふりがな) 年齢(生年月日)
所属会名 血液型 住所&電話番号
メールアドレス&携帯電話
緊急連絡先 氏名&電話番号
ボランティア保険加入の有無



東日本大震災支援 女性ボランティア隊に参加して

山ブキの会 青柳百合子

9月2日夜、新宿からマイクロバス2台に分乗し25日までの3日間宮城県石巻市にボランティアに行っておきました。前から被災地で何か支援したいとの思いがありました。

現地へ出向いての支援には 足はどうするか 何をしたら現地の被災者に役に立つのか 被災地の方に負担なくするには？

いつなら行けるか等考えて中々行動出来ませんでした。そんな中女性委員会でバスを仕立て被災地に支援に行くとの話があり参加する事にしました。

23日の早朝に石巻の道の駅の「上品の郷」(じょうぼんのさと)に着き朝食をとり作業の準備をしました。この「上品の郷」は2日間入浴でお世話になった所です。当初の支援内容は農地のガレキ撤去と言う事でしたが直前の台風15号の影響で農地の水が引かず作業出来ないことになりました。地盤沈下も影響しているようです。台風の爪痕はアチコチに出て山や崖も大規模に崩れていました。そんなことで急遽、落下した石でタイヤのパンクが多い所とか土砂崩れで道路が狭くなった所とかの土砂撤去や道路整備に変更になりました。作業場所は牡鹿半島の大原浜、鮎川近辺です。

参加者は関東や兵庫、京都から総勢108人で、幾つかのグループに分かれての作業でした。スコップ、ツルハシ、そして一輪車を使って大きな石や水分の含んだ土砂、また土砂に埋まった倒木を取り除きながらの作業は結構大変でした。現地岡さん(石巻労山元会長)の「無理ないように」との計らいで用具は人数の半分以下の数で頻りに交代しての作業でした。作業後は「上品の郷」で入浴し宿泊先の水沼構造改善センターで食事担当の方が作ってくれた美味しい料理をいただきました。一日目の夕食はカレー。食欲旺盛でお鍋はカラッポ。二日目の夕食はお寿司でした。ビールあります。2日間豊富なお料理を楽しみましたが食事担当の方は沢山の差入を無駄なく美味しくお料理するのに頭と体をフルに活用したと

聞きました。ありがたいことでした。夜は現地で被災された方が震災の資料を基に被災状況をお話してくれました。その後関東ブロックの24歳から86歳までの82名が石巻労山の仲間と一緒に楽しく交流しました。

夜はセンターの講堂にエアーマットとシュラフで寝ました。

25日は宮城県連の赤間理事長の案内で石巻市の津波の被害跡を見ました。震災後の石巻は津波の爪痕がまだ生々しく残っていました。海岸近くの門脇小学校は津波の後に重油とプロパンから出た火災に見舞われ3階建ての校舎は黒く焦げていました。校舎から海岸までの500m位の間にあった建物はほとんど津波と火災で無くなっていました。海岸には瓦礫の堤防が続き埋立地も瓦礫で一杯でした。街の商店街では当時のまま手が付けられない家屋がズーっと続き人の姿もまばらでした。ここに住んで被災された人達は今どうしているのでしょうか胸が痛くなりました。また船が土手の上に打ち上げられた状態で置き去りになっていて復旧が進んでいない様子でした。

現地でのボランティアを一度はしたいと思っていたけれど、悲惨な現地を見た事、現地の方がボランティアの手助けを叫びたい思いで待っている事を知り、何度でも行って手助けしたいと思いました。

ボランティアに行きたいと思っている人は是非力を貸してあげてほしいです。現地ではまだまだ復旧が進んでいなく沢山の方を待っています。



東日本大震災支援 労山女性ボランティア 隊報告

日程 2011年9月23日～25日

場所 宮城県石巻 牡鹿半島

参加 全国連盟女性委員会、関東ブロック
女性委員会 82名

参加県 東京、神奈川、埼玉、茨城、群馬
(24名)

宿泊 水沼構造改善センター(マット、寝
袋で宿泊、自炊施設あり。)

現地受入 石巻労山 岡さん他会員のみな
さん、宮城県連会長 赤間さん、宮
城県連女性委員長 森谷さん他

アクセス

マイクロバス2台(45万程度)42名+群
馬県連マイクロ1台(24名)

自家用車 4台16名

簡単な行動記録

9/22 新宿駅22:30出発

9/23

5:00 石巻 道の駅「上品の郷」着
この時点で作業場所決まらず。

7:00 作業場所 牡鹿半島の大原浜へ
向かう。

9:00 作業開始 台風15号の被害で通
行不可となった道路の土砂撤去

14:00 作業終了後大原浜へ。

豊かな漁村の風景は一変し、道路の両脇
の家々は土台を残すのみで、すべてが流さ
れていた。残るは、塩をかぶって赤茶に変
色した松とお墓のみであった。お彼岸でお
墓参りの人たち、自分の家であったあたり
を写真に収める人の姿もあった。参加者の
一人がお線香を持参しており、浜辺に立
てめい福を祈る。

15:00 上品の郷で入浴(700円)

18:30 水沼構造改善センターへ。自炊
班により夕食準備。ビールもあ
り。全体交流会

石巻労山の岡さん他3名出席・・・
被災状況、最近の暮らしなど話
してくれた

9/24 5:00 起床。食事。

7:00 出発。牡鹿半島泊浜方面の道路
の土砂撤去。

14:00 作業終了

泊浜は台風15号の影響で道路が不通。断
水で給水車が来たことを知らせる放送が流
れていた。

道路の途中で土砂撤去を始めると、泊浜
の区長さんがあんたたちの作業場は浜の方
だと言う。怪訝そうな顔をすると、ボラン
ティアセンターには話が通っている、飯も
用意してあるよと言われ、向かうと別のグ
ループの仕事だと判明。でもみんなオッチャ
ン区長さんのところで作業してみたかった
ごしきり。

15:00 上品の郷で入浴

18:00 水沼構造改善センターへ。自炊
班により夕食準備。

交流会(宮城県連赤間理事長、森谷女
性委員長、石巻労山出席)

石巻労山のメンバーから大震災の概要、
被害などについて説明を受ける。

9/25 5:00 起床。食事。

7:00 出発。赤間理事長の案内で
市内の被害状況を観察。

9:00 東京へ。18:00 新宿着

感想

私たちのボランティア活動がどれほど現
地の方々の手助けになっているかわからな
いが、確かなことは、行かないと被災地の
状況はわからないということ、行っても被
災者の話を聞いたり、説明を受けなければ
わからないことも多いのである。テレビな
どの報道が下火になっているようだが、復
興はなかなか進んでいなのが現状であり、
私たちが関心を常に持ち続けることが政府
に復興の手を緩めさせないことであると思
う。行って、見て、感じたことをまわりの
人たちに伝えていく。石巻労山の岡さんは
「震災復興は長期戦です。どうぞ、皆さん
は被災地の状況を沢山の人たちに話してく
ださい。伝道師になってください。」と言
われた。一度だけでは足りない。何度でも、
自分が行けなかったら、まわりの人たちに
行ってもらおうと思った。また、現実問題
として、遠い西日本から支援に行くのは難
しい、やはり東京、神奈川の会員たちが入
れ替わりたち替わり現地で活動することが
求められていると思う。(磯部)

2011年10月 救助隊

「セルフレスキュー」講習のお知らせ

2011年度の「セルフレスキュー」講習を、下記の要領で開催します。

日 程 11月6日(日)

場 所 鷹取山

内 容

(全体) ザックを使用した搬出法等の基本レ スキュー
トレーニング

(グループ講習)

1) 初心者:

- ・ロープ結び各種
- ・懸垂下降中の仮固定
- ・ビレイヤーの自己脱出までを習得することを目指します。

2) 初級者:

- ・ビレイヤーの自己脱出～ロープの登り返し
- ・1/3システムでの負傷者の引き上げ
- ・負傷者の引き降ろし
- ・負傷者を介助してのラッペル、背負ってのラッペル

3) 中級者: 技術研究会として実施します。

- ・カウンターユマール
- ・カウンターラッペル
- ・カウンターラッペル中の結び目通過など



募集対象

- 神奈川労山 救助隊員
- 神奈川労山 リーダー・学校生(初級、中級)
- 神奈川労山 加盟各会の会員(岩トレ経験者に限ります)

締め切り

2011年10月30日(日)

参加希望者は各会の救助隊員、又は救助隊事務局まで申し込んでください。
問合せ先も同じです。

救助隊事務局: 宮澤 haru3miy@orchid.plala.or.jp

救助隊登録者以外の方は連絡用、緊急時用に別途申込書に記入していただきます

申込書は、救助隊事務局にて準備し、各会の救助隊員および県連関係のメーリングリストに流す予定です。

《会山行紹介》北アルプス槍穂周辺集中に合わせて... カモの会
表銀座縦走 中房温泉～燕～大天井～槍～上高地

日程：2011/09/23～25 井戸

メンバー：CL井戸 SL亀山 野上 千千和 (報告：井戸)

9/22(木) 登戸2040 八王子2200 (車) 南安タクシー 豊科本社(仮眠室)

9/23(金) 5:00(タクシー)中房温泉(1450M)6:20...9:00合戦小屋9:40...燕山荘(2704M) 10:45
 11:20燕岳(2763Mピストン) 11:30 ...(大天井岳2922M)15:45大天荘幕営

9/24(土) 大天荘6:20.....9:15ヒュッテ西岳9:43.....12:50ヒュッテ大槍13:00...13:55槍ヶ岳山
 荘14:43...15:00殺生ヒュッテ

9/25(日) 殺生ヒュッテ6:20...8:09ババ平8:15...8:30槍沢ヒュッテ8:55...9:52横尾10:00...10:51
 徳沢...11:42明神...12:28上高地=(タクシー)=13:05沢渡=(車 温泉入浴)=20:00登戸

カモの会では年に1～2回集中山行が実施されている。今年は秋山集中で9月連休後半9/23～25槍穂周辺でいくつか計画された。

秋山集中なので、総CL秋山氏。準備手配を着々進めるが、(ほぼ皆の)出発前日(&カモ集会日、9/21)に台風東京直撃。準備する日が帰宅困難になったり、穂高周辺道路が(一時)通行止規制かかったり、栗会長英断により、集中企画としては中止。(集会も中止)各自判断実施で、直前バタバタだった。

結局、どのパーティも山の中で会えなかったが、中止分も含めて計画コースはこんな感じ。

秋山班(3名) 上高地～槍沢～殺生ヒュッテ(9/23幕営)～槍ヶ岳～南岳～北穂高岳～涸沢(9/24幕営)～横尾～上高地 <中止>

中込班(3名) 上高地～横尾～涸沢(9/23幕営)～北穂高岳～涸沢(9/24幕営)～奥穂高岳～涸沢～横尾～上高地

田中班(栗会長含3名) 上高地～横尾～1ルンゼ～T4テラス(東稜往復 9/23幕営)～雲稜～屏風の頭～涸沢(9/24幕営)～横尾～上高地

古山班(2名) 上高地～槍沢～水俣乗越～北鎌沢出合～北鎌のコル(9/23幕営)～独標のコル～北鎌平～槍ヶ岳(小槍往復 9/24幕営)～槍沢～横尾～上高地 <中止>

松井班(2名) 当日発 上高地～横尾(9/23幕営)～本谷橋～涸沢出合～横尾谷右俣～天狗原のコル～南岳～槍平(9/24幕営)～新穂高温泉

薬師寺班(3名) 上高地～横尾～本谷橋～南岳小屋(9/23幕営)～大キレット～北穂高岳～奥穂高岳～唐沢(9/24幕営)～屏風の耳～上高地 <中止>

前川(+他会1名) 上高地～横尾～涸沢(9/23幕営)～ のコル～前穂北尾根～前穂高岳～岳沢～上高地

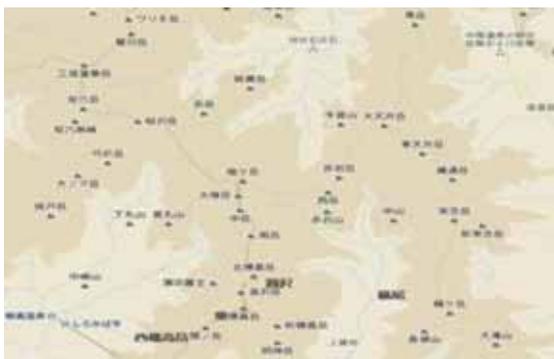
鈴木(+他会5名) 高瀬ダム～烏帽子(9/23幕営)～野口五郎岳～三俣蓮華岳(9/24幕営)～双六岳～弓折岳～新穂高温泉

カモの会で集中山行をするので、参加したいけれど、(カモの会きつての軟弱者なので)参加できそうな企画がない! どうしようかと思いついていた



ところ、たまには縦走もしたいとの亀山氏の言葉。表銀座をくたくたく歩くことに。そこに新人を含む2人が加わり、今回の山行が実現した。

どこの山岳会もそうかもしれないが、カモの会の山行は車利用が多い。縦走ということで、バスや電車も考慮したが、いい回送プランを見つけたので、それを利用することにした。南安タクシーで豊科～沢渡間回送で9,000円。しかも会議室を仮眠室として貸してくれるというオマケ付。回送サービスは初めてだが快適。非常にスムーズな対応で、睡眠時間を少し多く確保できるし、とても助かった。交通費で他に現地でかかった費用は、タクシー代:豊科～中房温泉9,090円、上高地～沢渡4,000円。4人で利用なら格安だ。



1日目 9/23(金)

東日本震災の後、山登りする人は少なくなった

と油断していたら、今回の北アルプスはすごい人！

まず、中房温泉の登山口で、トイレ行列。はじめ男性のみだったが、すぐに女性も行列。山ガールっぽい姿も多く、ロングスカートも。今やロングもOKか？と期待したが、登山口以外では見かけなかったので、着替えたのかも？ 残念。

登山道に入っても人が多く、久々の重い縦走荷物で足が重く、人々に抜かれまくる。いつも軽量化ばかり図っていることが裏目に出てしまった...

運転をずっとしてくれた野上氏も疲労がたたり高山病気味で苦しそうだ。



稜線に出ると思っていたより展望いい 雲の湧き上がる中を燕岳山頂へ空身でピストン。花崗岩の間で楽しく過ごす。



燕を背に、見え隠れする槍に向かって歩く。稜線の東側が雲。途中、雷鳥2羽に出会う。



大天井の幕営地に着くと、すでにテントはたくさん。通路っぽいところに張るが、続々と他のテント

も張られ、あっという間に違和感なくなる。



あまりの寒さにテント設営途中でテントに入りこみ、お湯を沸かす。(亀山氏が呆れつつテント完成 & 手続き。感謝。野上氏は高山病でダウン。) 防寒着を着ても寒い。まだ日没まで時間があるのにこんなに寒くて、これからどうなってしまうのだろうか...と不安が募る。テントに入って間もなく、みぞれ... 途中で雨に打たれてたら、低体温症になってもおかしくない寒さ。みぞれで幸運だった。

夜の食事は新人(なのに料理番長)千千和氏のスペシャル版。柑橘系の特製ダレに浸けた生姜焼き。テントに引きこもってまったり～

2日目 9/24(土)

夜の冷え込みを乗り越え無事に朝。

パーフェクトにいい天気だ。展望も満点。槍も南アルプスも八ヶ岳も富士山もぐるりと楽しめた。ただ温度差が激しく、稜線の東側は暖かいが、西側は日差しがあっても初冬の寒さ。脱ぎ着に忙しい。歩けば歩くほど、槍が近づき大きくなると実感！

表銀座日和 帰りのタクシーの運転手さんによると、今年一番の好天だったみたい。



槍ヶ岳までの表銀座はそれほど混んでなかったけど、好天すぎたのか、槍ヶ岳は超混雑。山頂から小屋までギッシリ。通りすがりの人によると登頂2時間待ちなのだとか。

槍ヶ岳山荘の幕営場もすでに満員。亀山氏の交渉により譲ってもらえそうな場所もあったが、試しに張ってみても4人用テントは完全にスペースからはみ出してしまふ。ここに張るなら、1-2人用テントを何張か持ってきた方がよさそう。ということで、幕営は殺生ヒュッテ。槍ヶ岳大迫力のよい幕営地だ。



なぜか水が不味かったが、以前は感じなかったのこのときだけかも。

2日目夜の食担はCL。暑いことを想定して保存性を重視の内容。ゴーヤチャンプルーにしようと思いつつ、ゴーヤ嫌いな人がいるかもと直前で思い直し、

違うものでいろいろ持ち込んだ。食材を前に置くと切ってくれるナイスな料理番長が適当にアレンジして調理してくれる。主食はパンケーキ。集中のはずだったので、会長に密かに敬意を表して栗入り表にでると満天の星だ。

3日目 9/25(日) この日も快晴。

朝は、連日の寒さでガスが1つ終了、コンロ1つに。料理番長が苦勞していた。(食担はCL)

連休最終日で道路渋滞が心配なのと、他のカモメンバーが下にいるかもという期待で、そそくさと下山。全てスムーズだったが、渋滞は発生(野上運転手の機転で回避)していて、カモメンバーには山で会えなかった(温泉施設を出たところで中込班に会う)。

今回、重い荷物を背負って歩くのは大変だけど、大勢で歩くのは楽しいと再認識できた。でも寒かった～ 4人テントに入っているけど、体温では温まらなかった。

今回はカモの会では珍しい縦走を報告した。カモの会の山行報告は、会の中でもヤマレコで代用している。<http://www.yamareco.com/> 興味のある方はぜひチェックを

自然保護委員会 議事録

日時：2011年9月26日

場所：県連事務所

出席者：渡辺(相模AC)・高橋勇三、萩原(藤沢)・三上(こぶし)・伊藤(横浜HC)・千葉・関根(みずなら)・大日向(AC横浜)・永井(カモの会)・青柳

来期・クリーンハイイク実施日を検討

2年続けて雨天だったことをうけ、日程変更の提案をします。

秋口は、冬山トレーニング等各会での行事が多いとの意見があり、例年の5月最終日曜日を一週繰り上げて実施はどうか。

第14回労山自然保護講座「上高地の自然環境・植生はどのように変化してきたか」

9/17～9/18参加(大用・高橋)

高橋さんより報告・上高地の過去1200年間の自然変遷について

場所・長野県上高地・西糸屋山荘

参加者・25名(北海道・兵庫他)

9/17 講義・報告(上高地の過去120

00年間の自然変遷について)

9/19 ビジターセンターガイド案内で上高地自然観察会

上高地から大正池まで説明お受けながら散策

自然観察会実施について

箱根方面自然公園を拠点にした散策をする案

女性委員会主催の東北震災ボランティア報告やお話を聞き、ボランティアに行くのはどうか。

11/3～11/6の日程で実施

参加希望は現在6名

詳細後日案内いたします。

自然再生シンポジウム打ち合わせ

小林朋子さんよりの講演資料読み合わせしました。

記 関根

関東ブロック役員交流会

2011年9月24日(土)13時開催

場所：群馬県立 妙義青少年自然の家集会室

主管である群馬県労山による開催の挨拶に続き、当該施設の利用手順並びにスケジュール等の説明の後、引き続き各地区の報告並びに討議に入った。詳細については割愛します。

主たるものとしては

東京では昨年度、沢での2件の死亡事故の検証が半年をかけて事故に対する検証と反省がなされて来たが、同事故を反芻し、二度と同様な事故が起きないためにも所属各会に注意喚起をすると共に意見を求めた。

同様に今日参加された役員方々からも意見あるいは、お叱りがあればお聞きしたい。

各地区、各会の加入会員数の減少のひとつとして会員全般の高年齢化によるものもあると思われるので個人加入も選択のひとつとして真剣に検討し、考える時期に来ているのではないかと。

個人加入が増えれば、かえって事故が増えるのではないかと。

個人加入者に対しては、例えば連盟が会費を集め、その費用をもってして遭難保険に加入して保障する。そうした方法もあるが、それには専任の係が必要となり、人件費も関係してくる事になる。

しかし、こうした対策が困難だからと言っては、なおざりにする訳には行かない。なおざりにすれば色々な面で不備をきたし、会は自然消滅とならざるを得なくなる。

労山にしても、かなりしっかりした保険があるのだから、労山も岳連がやっているようなシステムができないかと。

会員が減少した会もあるが、増加した会もある。増加した会はホームページを重視しており、常に更新しており、これによって入会者の若返りを図って

いるようだ。

会員の維持拡大は、いずれの連盟も苦慮している。留守宅への最終下山報告が無い場合は必ず家族と会に報告する。例え無事であっても救助隊はその用意をする。

更には例え無事であっても用意をし、時間経過によっては該当する山へ向かう準備をする。

群馬では救助隊の活動費は連盟から出るが、それとは別に各会の会員から年間で各自300円の支援金を出している。

会費が高いと云う事に関して、その料金が、どのような使途に使われているか、例えば救助隊の訓練等を各会員に公開してアピールする必要がある。

都連盟主催の山スキー学校は都連盟加入者以外でも参加できるので歓迎する。

連盟のナマステメールでGPS等の講習会あるいは他の何かを予定している事を発表して欲しい。

震災支援の参加について、一度は行くように各県連で指導したらどうか。

震災ボランティアは、行く側と受け手側での折り返いが必要となるが、出向く側としても五千元から一万円の出費は覚悟が必要である。同時に山屋がやれる事はどんな事を考えなければならない。

自治労連からもボランティアで入った者に、当初は三千元が支給されていたが、今はゼロである。労山としても長期的にやるとなればそれなりの工夫が必要となる。

また労山としてボランティア支援金にも限度があるが・・・。

放射能に関して労山としても登山道に入って測定を検計すべきではないか。丹沢でも一時濃度が上昇したが、被災地のみならず近辺の高尾でも高まっているのか。

労山としてもボランティアを実行するにしても、現地とのコンセンサスを十分にとって長期的な覚悟が必要となる。

文責：増田 徹

第14回労山自然保護講座

上高地の自然環境・植生はどのように変化してきたか

講義 「過去12000年間の上高地の自然変遷」
信州大学山岳科学総合研究所 河合小百合 特別研究員

報告 「長野県山岳地帯における大気中二酸化窒素の調査」

長野県勤労者山岳連盟 長野県山岳環境保全研究会 滝沢辰洋

日程 9月17日(土)～18日(日)

参加者 高橋勇三(藤沢山の会) 大用ユキ子(川崎ハイキングクラブ)

各県の自然保護委員代表25名(北海道、岐阜、

神奈川、兵庫、東京、愛知、千葉、長野、)が9月17日P.M上高地西糸屋山荘に集合し講義と報告を、18日は現地上高地の観察会に参加しましたので、報告をします

9/17(土) 「過去12000年間の上高地の自然変遷」

信州大学山岳科学総合研究所が行なった大正池でのボーリング調査の花粉分析から解明された上高地の自然環境・植生の変化を特別研究員の河合小百合先生が講義をされました。地層を調査した事で1万年前からの上高地の自然環境や植生が解明された。地層からは九州の火山噴火石が発見されるなど1万年に1回位のわりで大噴火が起こり、ダイナミックな自然の変化、又、緩やかに変化していく時代を経て今の上高地があることそして現在も少しずつ変化を続けている上高地の地形と植生の内容でした。

12000年前より少し昔の上高地は深い谷底を、古梓川が流れていた。厳寒で植生はほとんどなかった。

約1万2000年前、焼岳火山群が古梓川を、せき止め上流に長さ15km、幅2km、深さ300mの湖が出来た

約12000～11000年前、少し温暖化し、本格的な森林化に先駆けてハンノキ属やカバノキ属が生えてきた

約11000年前、トウヒ属や五葉松属の針葉樹林になった。

約1000～7000年前せき止め湖は、次第に埋没・縮小した。温暖化が進み、ブナやミズナラの落葉広葉樹林になった。

約5000年前に湖は決壊・消失した。約4000年前に新たな湖が、でき、やがて埋没した

現在の上高地は梓川の広い川原にヤナギ類やハンノキ類、ハルニレなどの川辺林が広がっている

「長野県山岳地帯における大気地帯に酸化窒素の調査」

長野県の山岳自然環境について、以前から樹木の立ち枯れ、ハイマツの減少の情報がありこれらの原因の一つと推測される大気中の二酸化窒素（NO₂）の調査を2007年夏から2010年の夏の4年間にわたる調査報告がありました。

調査地点は北ア、中ア、八ヶ岳、志賀高原の4山域9～13地点での測定結果によると、NO₂濃度は環境基準を上回ることはなかったが、釜トンネル出口の濃度が他地点に比べて高く3年連続で著しく高い値を示し、釜トンネル出口以外の地点は低い値で推移して。結果を基に考察し、今後の課題では、5年間の比較のみでは評価しにくいので更に数年にわたって測定を継続する必要があると話されました。

9月18日 上高地自然教室

晴天に恵まれた18日は、素晴らしい穂高連峰を見

ながら、ビジターセンターのガイドさんより宿泊場所の西糸屋山荘から、大正池までの観察会に出かけました。

カッパ橋付近には、砂地に生えるケショウヤナギの群落の説明を聞きました。ケショウヤナギと間違えてしまいそうなおエゾヤナギ等、オノエヤナギ

オオバヤナギ イヌコリと種類も沢山です。上を見上げるとカラマツ、ウラジロモミ ハルニレ ダケカンバ シラカバ等、上高地を代表する樹木に覆われています。ウェストンレリーフ碑の水面には、カワマス、イワナが見えました。散策路の小さな池には、パイカモの可愛い白い花が、咲いていました。田代池に行く間の木道沿いでは、田代のサル群れに出会いました。枯れ木の上に登ってお山の大将気分です。揺さぶって、遊んでいるサル、きのこを食べ散らかしているサル、若いサル等、人間に慣れているサル達は、自由に動き回っていました。すぐ傍で写真を撮ろうとした人にサルは威嚇をしてくれましたが、ガイドさんとの、せめぎあいで、サルは負けです。降参すると、上高地のサルは木の上に登るのです。人と田代のサルの暗黙の了解のようですが、里のサルは違うようです。木に登ると銃で撃たれるので、登りませんとの、話でした。

大正池では、カモが沢山いました人馴れしたカモは、可愛らしく食べ物を欲しそうに寄ってききましたが、サルも、カモも野生動物には餌をあげることは、出来ません。

人間も動物も植物も共生するために、保護をされている上高地を。普段は山に登る登山口として、また帰路の下山口として、忙しく通過していましたが、今回は丁寧に観察する機会を、持てた事は、人間の力ではどうする事も出来ない地形の変化に納得し、人間の思いやりや心、行動で守れる自然保護の活動等、観察会は、「一見は百聞にしからず」を実感できた実りの多い2日間でした。参加の機会を与えていただき感謝申し上げます

県連自然保護委員長 大用ユキ子

第18回全国ハイキング交流集会

2011.9月17日～18日伊豆長岡・おおとり荘にて15都府県111名の参加で開催されました。

全国ハイキング委員長 石川友好氏

「ハイキング文化を次世代に引き継ぐために今何をなすべきか」

1990年の中高年ブームから20年、会員の高齢化の進行。

若い層の登山の参入（山ガール）若い人たちが十分な登山知識と経験を積む機会の不十分さが目立つ。

登山ハイキング部門でも高齢化・後継者不足になっている。

新日本スポーツ連盟全国ウォーキング協議会 吉越

悦子氏

「全国で発展するウォーキング協議会の取り組み」
全国のクラブとネットワーク作り

全国各地から参加がある行事

関東、東海、関西のブロック活動

無料で音声通話ができる「スカイプ」の導入
…32拠点に導入済み協議会やクラブでの会議、打合せに利用している。

「ニフティのマイキャビ」を活用してファイルの共有

分担金の導入

神奈川ウォーキングクラブの取り組み

多彩な企画・月間約8回のペース

リーダー養成・集中ウォークで力をつける

表彰がある・年間参加回数で記念品を贈呈

隔月で機関紙「ウォーキングたより」を発行

3人でホームページの管理

スカイプの活用

楽しいアフターウォーク

山やハイキングでもウォーキングを取り入れて高年齢になっても仲間との絆が続いていける会に発展して欲しい、そしてスポーツ連盟の組織として交流して行きたいという強い思いが感じられた。

第2分科会 田上千俊氏

「事故防止、リーダー養成と会員教育」

多発する中高年事故2011年6月15日～8月5日での事故一報35件のうち重大事故は20件、そのうち60歳以上は12件50歳以上では16件に及ぶ。事故の特徴は転滑落が14件と圧倒的に多い。死亡事故が2件沢登り74歳、落石事故73歳、教育の場での事故も発生している。

健康志向の中高年は連れていってもらうために入会するケースが多く見られる。

山行前の事前トレーニングや健康管理を重視する。

高齢者はわがままになっている。腰痛、膝痛が

あってもリーダーが連れていってくれる。

年金層のハイキング愛好会があり経験豊富な人がなく事故、安全に対する知識がない。

登山には体力、技術、装備、経験、知識が必要。

例会を月に2回開催その内1回は研修に当てている。

会の中で軽い山歩きが増えている。

急に襲ってくる突然死・・・40歳春山で常念岳から蝶が岳200m手前低体温症で倒れ死亡。・・・70歳スキー登山中動脈かい離で死亡。

道迷いが多い・・・夫婦で登山標高700m道に迷い頂上に着いたのは5時30分、下山を急ぎ石につまずき転倒、打撲、鎖骨骨折、擦り傷を負う。・・・64歳幌尻岳で道迷い雪渓に出会い滑落。

以上のような基調講演、体験談を聞く事ができ、各会やクラブでも高齢化がすすみリスクも高くなっている中で、組織登山の中で会員の目指すもの、教育、安全山行にそれぞれ力を注いでいる姿勢が印象的でした。

ハイキング委員会：清藤秀子

2011年度 臨時総会報告

去る9/11(日) 石川町の労働会館にて、臨時総会が開催されました(3/11(金)の東日本震災直後に総会が予定されていた為今回まで延期)。出席者69名(総会成立条件45名)。議長団選出の後、来賓として新スポ連盟の石川正士理事長よりご挨拶を戴き、労山の黎明期のお話など貴重なお話を戴きました。

第1号議案 第32期下期(前)報告と下期(後)予定 並びに第2号議案 規約改正について審議されました。

第3章5条(構成)の意味を以下の様に変更提案されました。

第2号議案の変更提案

臨時常任理事会を開会し「神奈川県勤労者山岳連盟規約」の条文の変更を以下のように提案します。

第3章・第5条(構成)本連盟は連盟の規約と活動を認める団体によって構成される・・・。

第8条(構成員の権利)すべての連盟員は連盟の行事、活動、各種指導員資格の取得・・・。

第9条(構成員の義務)すべての団体及び連盟員は規約、規程を守らなければならない

第11条(総会)当該会期中に1回開くものとする(通常は3月)。

第13条(臨時総会) 団体の三分の一以上の要求があった場合

第32条(選挙の成立) 有効投票数が議員の過半数以上をもって選挙は成立する

第37条(財政の内容) 県連盟加盟費(事務手続費用として)加盟時 円 はすべて削除。

全国連盟一律分担金 3600円(年額)

第41条(滞納処分)団体が何らかの理由なく三カ月以上連盟費を収めない場合は団体の権利は停止される

第42条(賞罰)本連盟の団体または連盟員で連盟活動にすぐれた功績を残したもの

第43条 本連盟の団体または連盟員が規約・規定を守らず本分に反した著しい行為があった場合、

第44条 本連盟の団体または連盟員が前記の処分を受け

以上、賛成多数でいずれも承認されました。

なお、救助規定の中で捜索救助要請規定と費用支払いに関する規定の案の提示がなかったことから、早急に作成し、提案する事を約束しました。

9月 事務局長会議 議事録

2011年9月13日(火) 7:20開始

司会：池上事務局次長 (敬称略)

出席者：小池(川崎労山)・小林(川崎HC)・戸塚(川崎柴笛)・神谷(AC横浜)・永野(横浜HC)・三上(こぶし)・中河原(藤沢)・青木(ナーゲル)・水村(相模AC)・藤本(みずなら)・古山(炬の会)・栗田(やま++)・青柳(山ブキ)・後藤(メグリ家)・中田(M&C)

理事等：三上(機関誌)・池上(事務局次長)・西川(事務局部員/記録)

【 】県連からの連絡事項(連盟ニュース9月号参照)

関東ブロック自然保護担当者交流集会

臨時総会を終えて(17:30~21:00)

- ・夜が遅かったので打ち上げが出来なかった。(一部で実施)
- ・昼間は山に行けたので良かった。
- ・2号議案と3号議案が分かりにくかった。
- ・規約改正されたの(新)規約は、なるべく早く作成し、配布します。改正された所が分かる文章と(新)規約集(最終確認)の両方を作成する。
- ・事務局長会議出席者の交通費が出る事が決定。金額申請を(3~8月)。

連盟ニュース

・会山行報告のお願い：カモの会(古山氏)に依頼(10月号)

・印刷部数(持ち帰り部数)を教えて。

新スポニュースの持ち帰り部数を教えて

労山カレンダーについて：申込みは県連事務局西川まで

東日本大震災復興支援Tシャツ：申込みは直接全国へ

全国から：後藤理事長

- ・青年学生委員会主催 沢登り講習会の案内(10月15日~16日)主任講師：後藤 真一氏
- ・全国救助隊交流集会(愛媛県松山) 10月1日~2日
- ・ロープの結束について：

「エイトノット」を止めて、「オーバーハンドノット」に。

アメリカで事故が有り、「エイトノット」は「禁止」になった。

全国遭対部及びガイド連盟は「オーバーハンドノット」を「推奨」。

自然保護委員会から：三上

- ・自然再生シンポジウム 10/30(日) 12:30~17:00 かながわ労働プラザ(連盟ニュース参照)
- ・クリーンハイクの報告書が出来たのでお持ち帰り下さい。

丹沢山報告：後藤

- ・台風12号の影響で山が保水していて、いまだに増水している。10日程経った今でも普段の1.5倍以上有る。
- ・西丹沢のやどろぎ(寄)や東海道自然歩道の橋が流されている。

【2】各会からの報告(怪我・トラブル等報告)

<川崎労山>8月のお盆の時に北アルプスの屏風に登攀に行った人達のテント場から10m位の所に熊が出た。小熊だったのでどこかに親熊がいて刺激すると親に攻撃されるので、じっとしてやり過ごしたとの事。また、大震災のボランティアとして、7月の現地に行き、8月は暑いので現地は止めて、磐梯山に行きテント泊の処をペンション泊に。買い物などしてボランティア(お金を使う)をして来た。

<川崎HC>10月に公開ハイクを計画、バス1台で富士の精進湖にハイキングに行く。読売新聞の15日の夕刊に募集を載せる。公開ハイクの目的の1つは会員拡大、もう一つは山に単独では行けない素人の人達と一緒に登る事で、宣伝はこれから。ヒヤリハットなし。

<川崎柴笛>今加入を希望している女性が1名いる。丹沢でセルフレスキューを計画、前日セルフレスキューの練習を事務所で行ったが、当日天候が悪く延期に。10/15(土)に丹沢でやる予定。

<横浜HC>8~9月の山行は連盟ニュースに記載。9/24(土)にファーストエイド講習会を計画。

<横浜こぶし>山行は連盟ニュースに記載、「こぶし祭」は台風のため中止した。

<藤沢>8月に夏合宿(北沢峠集中)を計画。当初7コースを計画していたが、連日の雨の為2コース(11名参加)に。10月末に近くの公園でセルフレスキューの実技を計画。10月後半に会のクリーンハイクを大山周辺で実施する予定。

<小田原ナーゲル>先月欠席しましたが、剣岳に行ってきた。30年振りに三ノ窓雪渓に行ったが雪渓が小さくなっていて下のに凄く恐かった。真砂沢山荘のご主人の話では、三ノ窓雪渓は危なくて使われなくなった。温暖化の影響か。また、山小屋が大変親切で、お湯の出るシャワーがあり、感激した。

<相模AC>8月の山行は雨が多くて6件ほど中止に。9月は米子沢(巻機山集中)が有る。

米子沢の下滝が崩れているので要注意。

<みずなら>明日の例会で2人位入会しよう。北鎌尾根を去年から計画していた会員が8/13~16に登り目標達成に感激し、神奈川新聞に投稿し掲載された。

<カモの会>夏の会山行はなし。毎月集会をやるがマンネリに、たまにはビアガーデン集会でもいいか

と・・・秋は集中山行を9/23～25に槍穂高へ（18名参加予定）。ヒヤリハットなし。

<やま++> 1名増えそう。山行は連盟ニュースに記載。私は8/8～12に朝日連峰を縦走。大鳥小屋と竜門小屋宿泊。3日目にもの凄い風で（多分20m以上）、西朝日岳の広い稜線で東風に吹かれ、何回か転びそうに成る。私はシングルストック、他の人はダブルストックで安定していたので、次回は私もダブルストックに。古寺温泉に下山。追い風だったので無事下山出来た。風の凄さを知る良い経験だった。

<山ブキ> 入会の問い合わせが初めて来た。女性7名、平均年齢64歳と言う事に惹かれた様ですが、私たちのレベルが人を迎えるレベルではないので断った。会山行で8/10～12仙丈ヶ岳に行った。雨天の為2回延期した事で天候に恵まれた山行になった。8/22～25にスポーツ店主催の登山ツアーに「会」から3人参加して奥穂高に行く。上高地から溜沢まで雨に降られ通して、殆んどの人がビショ濡れになり低体温の一手手前になった人もいた。暖かい物を持っていたが雨の為補給出来なかったり、カップが不適合で買い換える必要が有ることを知る。翌日の奥穂高は晴天に恵まれ、360度の大展望パノラマを眺める事が出来た。帰りはまた雨でした。

<メーグリ家> 来月1名増えそう。募集はしていない。同人なので教育等一切やっていない。山については個人責任、自己責任を貫いている。死んだら屍を拾ってやると言っている。ですから山行計画と下山報告は必ずする事になっている。会活動は、沢とクラック・クライミングで半々。1割位女性が一般縦走に出かけている。毎週5企画位入っている。月に20～30実施している。私は週に3日山に入っている。ヒヤリハットなし。事務局長会議には必ず誰かが出席します。

<M&C> ヒヤリハットなし。山行は連盟ニュースに記載。8/13の甲斐駒ヶ岳Aフランケは、天気がいマイチで、3ピッチ登った所で雨に降られて下山した。9月は屏風岩に4名行く予定。

<AC横浜> 8/6～7につづら岩で岩講習会をやった。人数が多く初めて岩を触る人も参加したので、当初予定していた人工登攀の練習はあまり出来なかった。今年の夏はお盆休みがバラバラであまり大きな山行は無かった。10月の初旬に集中山行を計画している。<司会> 終了後、会費200円で懇親会をやりまですので、時間の有る方はご参加下さい。

9月度 常任理事会（拡大）議事録

2011/09/5（月）（敬称略）〔常任理事11名〕

出席：中山・後藤・池上・三上・西川・増田・清藤・大用 ・佐藤悠子（理事）

早退：なし 欠席：三瓶・海輪・田村 記録：西川

<連絡・報告>（敬称略）

(1) 東日本大震災関係：池上

ボランティア活動について（まとめ役：中山氏）

7/7(木) ボランティア希望者「交流会」実施。9名参加（含常任理事）。

参加方法：中山氏ルート（南三陸町）・川崎岩山ルート（石巻市）・関東7ロック千葉県ルート（石巻市北上地区）・全国岩山女性ボランティア隊（石巻市）・神奈川（横浜）発のボランティアバス（岩手県の山田町）等

復興には3～5年はかかると思う。

神奈川岩山は、実績の有る「川崎岩山ルート（石巻市）」をメインに考える。

県連に届いて居る物資（登山用品）は全国に送り、物資の募集は、ストップする。

(2) ハイキング委員会：清藤

全国ハイキング交流会 9月17日のみ清藤出席。

8月7日実技山行「葛葉沢」受講生4名、講師6名で実施

大平橋手前で体調不良1名、脱水症状で心拍微弱、頻脈で安静、水分補給で回復する。

「葛葉沢」は、「葛葉川本谷」が正式名称です。

【予定】・9月15日机上（山での生活技術）・10月1～2日実技山行（赤岳/ハヶ岳(コフ3名)）

赤岳の南沢ルート（行者小屋）は崩壊、北沢ルート（赤岳鉱泉）を。

(3) 自然保護委員会：大用

丹沢クリーンハイクの報告集が完成、連盟員及び関係団体に配布。

10月30日再生シンポジウム：神奈川労働プラザ

活動報告発表（20年間の水質調査のデータから見えてくる傾向と問題点）

クリーンハイクの実施日検討（11月頃まで継続討議）

各自然保護集會等の代表参加者決定

大山クリーンハイクの報告（地平線会員に鈴木氏）が、新ハイキングに掲載。

三浦雄一郎記念講演のご案内：9/10(土)

(4) 全国報告：後藤

10/15(土)～16(日) 青年学生委員会主催：

ピバーク沢登り講習会（釜ノ沢東保）

懸垂下降でのロープのつなぎ方について

「エイトノット」を止めて、「オーバーハンドノット」に。

アメリカで事故が有り「エイトノット」は

「禁止」に。

全国遭対部及びガイド連盟は「オーバーハンドノット」を「推奨」。

(5) 理事の条件：西川

事務局の仕事の中に「連絡・調整」が有る。緊急事項も有り連絡にはPCメールが最適。よって、理事（含常任）には至急PCメールアドレスを取得して戴きたい。

(6) 財政担当者の変更承認

総会で任務の確認をする。

< 議題 >

(1) 連盟ニュース：三上

連盟ニュース9月号の記事（含県連スケジュール）

関東ブロック交流会：9/24（土）～25（日）群馬県妙義

全国総会又は評議会は、2月第3週の土・日（晴海）・・・分担したい。

(2) 県連事務所の使用方法について：三上

部屋の鍵をかけずにオープンにする。
ロッカーの鍵を作る（メーカーに依頼）。
予定表（3ヶ月）を作りドアに貼つけて、
利用者に記入して貰う。

入室時間・退室時間・使用会名・責任者名の欄を作りペンを用意。

(3) 臨時総会（9/11）議案書の確認

ハイキングについての定義：労山新特別基金の規定にのっとる。

当日の日程（時間配分）の確認

5月最終日曜日を一週繰り上げて実施の意見多く、最終決定は11月に決める

* 第14回自然保護講座（9/17～18）参加者報告（詳細は県連ニュース10月掲載）

参加者25名 神奈川は高橋・大用2名参加（開催県 長野県・上高地）

* 自然保護観察会実施の変更について

女性委員会主催の東北震災ボランティア報告を聞き今年は、観察会は中止にして石巻支援ボランティアに変更したい

* 10/30自然再生シンポジウム発表原稿読み合わせ

救助隊

* 10/1～2西丹沢搜索訓練は参加者7名（内指導者3名）と少なく訓練体制組めず、中止した

* 10/1～2・全国救助隊交流集会（詳細は県連ニュース10月掲載）参加者69名 神奈川からは海輪参加（開催県・愛媛県）

* 11/6岩場の（鷹取山）セルフレスキュー実施予定すでに申し込み有り毎年参加者多く好評

関東ブロック役員交流集会 増田氏参加報告（詳細は県連ニュース10月掲載）

群馬県立妙義青少年自然の家集会所で、個人会員制と会員制確保、震災ボラに1回行くよう指導したらどうか、登山道での放射能測定をしたらどうか等、各県連の取り組みや意見交換、討議がされました。

< 議題討議事項 >

入木田実文氏の常任理事承認 事務局を担当する

県連事務所の鍵はかけないでオープンにする。3ヶ月前までの予定表をドアに貼るので使用の場合は記入する（西川担当）空いている日時は新スボも使用可能

3/11（日）の総会は、9:00～17:00までの時間を予約する（個人会員制に十分な討議が必要の為）

臨時総会議事録の県連ニュース掲載は、簡略したものを載せる。全文は理事 事務局長メールで配信

11/3（祝）全国連盟臨時評議会（場所・全国連盟事務所）中山会長に出席打しんする

2月第3週土日の全国連盟総会代議員出席者は、事務局から出席予定

東日本大震災ボランティア活動（自然保護委員会主催）について

9/23～25女性委員会（労山女性ボランティア隊）の石巻震災ボランティアに参加した磯部さんから報告を聞きました。参加者は82名・宮城県石巻・牡鹿半島で道路土砂撤去の作業をした。石巻労山の岡さんを中心に現地の受け入れ体制も、良く出

10月常任理事会報告

（2011、10、3）

出席：田村 池上 三上 西川 海輪 増田
清藤 入木田 大用（報告）

欠席：後藤 中山 三瓶

< 報告事項 >

ハイキング委員会

* 第18回全国ハイキング交流集会 9/17～18

（詳細は県連ニュース10月掲載）

全国15都府県111名参加 神奈川は増田参加（場所伊豆長岡）

* 9月～10月の日程

9/22机上講習（山での生活技術）

10/1～2 実技 大雨でコース不良の為、八ヶ岳/赤岳～天狗岳/黒百合キャンプ場に変更

10/20 机上 権現山ミーティング 10/23 実技山行 世附権現山（西丹沢）

自然保護委員会

* 来期クリーンハイイク実施日検討

9月に出された意見を参考にしながら、例年の

来ていた。「現場を知る者が復興を最後まで後押しする事が出来る」と感想を述べました。常任理事会で確認を受け、県連自然保護委員会は、観察会を中止し、大震災ボランティア支援活動を実行する事に決まりました。

* (東日本大震災支援担当者の打ち合わせ会で決まった事)

(日程) 11/3~6 (場所) 宮城県石巻 募
集人21名(マイクロバス1台) 参加費 2万円位
担当者打ち合わせ(10/11 18:30~県連事務所)

参加者ミーティング(10/24 県連事務所)

詳細は 県連ニュース掲載 理事メール・事務局
局長メール配信で参加募集を募る

搜索救助要請規定について

臨時総会時で質疑された第3条について数名から
意見が出ましたが、意思統一までは、至らず提案
者の欠席もあり、次月に引き続き検討していく事
とした。

以上



労山カレンダー 2012年

2012年カレンダー申し込みを受け付けています。

締切、10月末。受け付け：事務局西川まで、メールでお願いします。

お申し込み受け付け中 1部1,200円 (送料1,500円、送料700円、送料1,000円、サイズ295×420mm、郵送でお届け)

販売番号: 00198-0212508 22巻 日本労山若山石巻連事務所
住所: 住所、電話番号を明記して郵便封筒で送付して下さい、入金確認後に送付します。

※労山会連の方は所属会を通じてお申込へお申し込み下さい。
FAX: 02-3208-4324, web@rouzan.jp
電話、FAX、メールでお申し込み下さい。
ホームページでも承っています。http://www.rouzan.jp/

※名入れ印刷受け付けています。お問い合わせください。0210-44-2742 (平日 10:00~18:00) 日本労山若山石巻連

神奈川県勤労者山岳連盟各会の活動報告と予定

川崎勤労者山岳会 <http://www.geocities.co.jp/kawasaki/rousanhp/>
報告：小池秀子 計43名(男27 女16)

9/4 丹沢・塔の岳(1)	9/17-19 鹿島槍(1)	10/9-10 四国・石鎚山
9/10 丹沢・塔の岳(2)	9/17-19 朝日連峰・荒川(1)	10/9 小仙丈
9/10 丹沢・塔の岳(1)	9/18 南秋川・ムケシ沢(5)	10/15-16 会津駒
9/10 至仏山(2)	9/22-23 富士山(1)	10/15-16 戸隠連峰
9/16-17 甲斐駒・坊主岩(4)	9/22-25 北鎌尾根(4)	10/22-23 一の倉沢・変形チムニー
9/17 秩父・両神山(1)	9/24 塔の岳(1)	10/29-30 一の倉沢 南稜フランチ
9/17 高尾山(1)	10/1-2 三ツ峠	

川崎ハイキングクラブ http://homepage2.nifty.com/kawasaki_hc/
報告：川上勝夫 計100名(男50 女50)

8/17-18 平標山～仙/倉山(10)	9/9-12 穂高岳(3)	10/23 金時山
8/17-21 五色ヶ原～薬師岳(7)	9/12-三ツドッケ/奥多摩(2)	10/23 陣馬山
8/20 益子散策/栃木(9)	9/9-12 荒島岳/北陸(9)	10/22 古淵・橋本 ウオーキング
8/20-21 富士山(2)	10/2 小仏～高尾 例会山行	10/30 パノラマ台 公開山行
8/26-28 甲武信岳～金峰山(7)	10/8-9 御嶽山と木曾駒ヶ岳	11/6 奥多摩の昔みち 例会山行
8/26-28 東天狗岳/八ヶ岳(6)	10/14-16 会津朝日岳	11/19-20 雲取山
8/28 鶴ヶ鳥屋山/中央沿線(2)	10/16 猿島	11/19-20 塔ヶ岳 携帯トイレ山行
9/7-8 霧ヶ峰/八ヶ岳(2)	10/19 笹尾根	

川崎楽笛クラブ 機関紙「柴笛レポート」 <http://www.shibabue.com/page/page-1.htm>
報告：砂原浩二 計37名(男25 女12) 平均47歳

9/3 笹ヶ岳(1+1)	9/14-16 北穂高岳(1)	9/18 天丸山(1+10)	9/25-27 白馬岳～唐松岳(1)
9/9-11 旭岳～トムラウシ山(1+1)	9/16-17 蓼科～北横岳(1+1)	9/18 越沢バットレス(4)	9/25-26 武尊山(1)
9/10-11 甲斐駒ヶ岳(2)	9/16-17 八ヶ岳(1+1)	9/18 雨降山～瀬淵山(1)	9/25 沖の源次郎(1+1)
9/10-11 鷹ノ巣山(1)	9/17-18 蓼科～北横岳(1+2)	9/18 高尾山トレラン(1)	9/25 瑞牆山(2)
9/10-11 柳沢峠周辺2		9/23-25 北穂周辺(1+1)	9/27-28 戸隠山(1+1)
9/11 川海峯山(3)	9/17-19 燧ヶ岳(2)	9/23-25 前穂高岳(1+1)	9/30-10/2 立山(1)
9/11 つづら岩(1+1)	9/18-19 立山三山(1+1)	9/24 八海山(5)	
		9/24 鍋割山(1)	

アルパインクラブ横浜 <http://acy.jpn.org/>
報告＝岸 直哉 計38名(男23：女15) 平均 歳

9/3-4 本沢温泉(1+3)	9/16-19 北ア・赤木沢(1)	9/22-23 前穂高岳北尾根(3)
9/4 塔の岳(3)	9/17-18 富士山(2+1)	9/23 利尻岳(1)
9/8 十勝岳(1)	9/17-18 大雪山(比布岳～北鎮岳～黒岳～北海岳)(1+1)	9/23-24 小川山(ハイキング)(1+1)
9/10 月山(1+2)	9/17-18 美瑛岳・十勝岳(1+1)	9/23-24 雲取山(1)
9/11 上野原トレイルレース(1)	9/17-19 会津駒ヶ岳(1)	9/23-25 甲斐駒ヶ岳赤石沢奥壁A
9/13 白雲岳(1)	9/17-19 常念岳(2)	フランチ赤蜘蛛ルート(2)
9/14 足尾(松木沢周辺岩場)(1+1)	9/17-19 剣岳(1)	9/23-25 小川山(2+11)
9/15-16 前穂高岳～奥穂高岳～西穂高岳(1)	9/18 苗場山(2+1)	9/27 大雪山(旭岳他)(1)
		9/30 葛葉川本谷(1+1)

横浜ハイキングクラブ 会報「四季」 <http://yokohamahc.web.infoseek.co.jp/>
報告＝丸尾真知子 計50名(男19：女31) 平均62.8歳

9/8 室内例会(32)	バスハイク(17)	9/18 不老山(9)	10/16 足和田山～三湖台
9/7 雲取山・下見(2)	9/11-12 前穂高岳～奥穂高岳～西穂高(1)	9/19 富士山吉田登山口～五合目(8)	10/20 仏果山
9/7-10 岩木山・八甲田山・八幡平(2)	9/13-16 屋久島・宮之浦岳(3)	9/23 白毛門(5)	10/23 奥沼津アルプス
9/8 富士吉田口登山道・下見(3)	9/16-18 爺ヶ岳～鹿島槍ヶ岳(4)	9/23 赤城山(2)	10/29-30 金峰山
9/11 茶臼岳～朝日岳・		9/27 丹沢・大山(3)	
		9/30-10/1 男体山(8)	

5. その他

9/24全国労山遭対部から講師として藤柊氏をお迎えして「ファーストエイド講習会」を開きました。みずなら山の会からも3名の参加をいただき、合計27名でシュミレーションを取り入れた有意義な講習を受けることができました。受講後のアンケートでは次回も受講希望する参加者が85%でした。

横浜こぶしの会 会報こぶし <http://www.justmystage.com/home/smikami/index.html>
報告＝三上茂 計20名(男14人 女6人) 平均 歳

9/3-4 こぶし祭り中止	9/17-19 黒部川下ノ廊下 中止	10/1-2 天狗岳HCL学校	10/22-23 編笠山
9/8 室内例会(9)	9/22-25 葉師岳-黒部五 郎岳(1+3)	10/7-10 森吉山-八幡平 周辺(6)	10/25 役員会
9/10 鍋割山(5)	9/27 役員会(3)	10/13 室内例会	11/6 HCL学校
9/14-16 戸隠・高妻山(1 +1)		10/16 黒斑山(2)	11/10 室内例会
			11/12 読山行

藤沢山の会 会報「稜線」 http://outdoor.geocities.jp/akio_saito21/
報告=中河原昭夫 計100名(男46:女54)平均65歳

9/1-10 海外・ロッキー山脈(1・他)	9/18 丹沢・東沢本棚沢(2)	10/8-9 北ア・木曾御嶽山(会ハク)
9/3 奥多摩・倉岳山(会ハク・13)	9/19 入会説明会(1)	10/8-10 上信越・火打山(10)
9/3 運営委員会(13)	9/21-23 奥秩父・小室川谷(2)	10/11 機関誌印刷・発行
9/8-9 上信越・湯檜曾川本谷(教育 ・遭対部沢実践・5)	9/22-25 北ア・赤木沢(10)	10/12 室内例会
9/10 奥多摩・大岳山(会ハク・11)	9/24 南関東・湘南平(1)	10/15-16 富士周辺・三ツ峠(教育・ 遭対部岩実践)
9/13 機関誌印刷・発行	9/25 奥多摩・花咲山(4)	10/16 丹沢・仏果山(会ハク)
9/14 室内例会(38)	9/28 室内例会	10/21-22 奥秩父・瑞牆山(会ハク)
9/15 富士周辺・釈迦ヶ岳(1・他)	9/27-30 東北・吾妻連峰中津川(1・ 他)	10/25 室内例会(講座・運動生理)
9/17 道志・御前山(5)	9/29-30 上信越・浅間山	10/29 ヘルプスクー-実技講習(新林公 園)
9/17-18 北ア・上高地(労山自然保 護講座)(1・他)	10/1-2 東北・鳥海山(1・他)	10/30 丹沢・大山(自然保護部・刈 刈ハク)
9/17-18 北関東・尾瀬・燧ヶ岳(教 育・遭対部テント泊・14)	10/1-2 上信越・妙高山(1・他)	
	10/3 奥秩父・瑞牆山(3)	
	10/5 運営委員会	

相模アルパインクラブ 機関紙「こだま」 <http://sagamiac.sakura.ne.jp/>
報告:水村和也 計27名(男20:女7)

8/25-9/1 大雪山～トム ラウシ(1)	9/10-11 小川山(2)	9/9 鍋割山(1)	(2)
8/26-27 富士山(1)	9/6 高尾山(2)	9/13 大山(1)	9/22 フナムシの岩場(1)
8/27-28 北八ヶ岳(1)	9/7 大菩薩峠(2)	9/16-18 巻機山(6)	9/25 湯河原幕岩(5)
8/27-28 天狗岳(2)	9/7 鬼石沢(1)	9/18 湯河原幕岩(2)	10月1日付けで女性1 名入会
8/27-28 小川山(2)	9/10-11 那須岳(1)	9/18 天王岩(1)	
8/27-28 小川山(2)	9/10-11 甲府幕岩・小川 山(1)	9/19 天王岩(2)	
9/19-27 仁寿峰(1)	9/9-10 大同心 雲稜(3)	9/23-25 小川山(2)	
		9/23-25 佐久周辺の岩場	

みずなら山の会 <http://home.h02.itscom.net/mizunara/>
報告:藤本慶子 計39名(男25 女14)

9/14 例会	(1)	天神尾根(1+1)	山(3)
9/15 蛭ヶ岳(1)	9/18 勘七沢(1+1)	9/25 塔ノ岳・丹沢山(5)	10/7-9 ノ倉烏帽子奥 壁南陵・衝立岩(1+4)
9/16-19 湯ノ俣沢・虎毛 沢・赤倉橋(3)	9/19 鷹取(岩トレ)(2)	10/2 鷹取(岩トレ)(5+1)	10/8 広沢寺(2)
9/16-19 北尾根・前穂・岳 沢(1+1)	9/22-24 富士山(高所ト レ)(3)	10/3 奥多摩カーネルロッ ク(1+1)	10/8-10 濁沢・屏風のコ ル(3)
9/17-18 三ツ峠(岩トレ)	9/23-24 赤岳・硫黄岳(2)	10/7-8 巻機山(2)	
	9/23-24 谷川オキノミミ	10/7-9 未丈ガ岳・金城	

カモの会 <http://www.kamonokai.com/hp/index.html>
報告:渡辺 計51名(男33:女18)

9/6 ウェルヘルム山(2)	9/11 金峰山(1)	9/24 白神山地 二つ森(1+3)
9/8 瑞牆山(1+1)	9/12 三ツ峠(1+1)	9/23 前穂高岳北尾根(1+3)
9/9 濁沢(1)	9/15 日光 白根山(1+1)	9/23 槍～北穂～濁沢(1)
9/10 塔ノ岳・丹沢山(1)	9/16 フランスノシャモニー(1)	9/23 穂高ノ屏風岩・東稜&雲稜 ルート(3)
9/10 天狗岳(1+2)	9/17 谷川岳/ノ倉沢烏帽子沢奥 壁南稜～国境稜線(2)	9/25 丹沢・鳥屋待沢左俣(3)
9/10 飯盛山(1+1)	9/17 湯檜曾川・ケサ丸沢～谷川 岳(1+4)	9/23 横尾谷右俣～南岳(2)
9/10 宝満山(1+1)	9/17 剣岳(1+1)	9/23 裏銀座縦走(高瀬ダム～新 穂高温泉)(1+5)
9/10 太刀岡山(1+2)	9/18 丹沢・塔ノ岳(歩荷トレ)(1)	9/23 奥穂高岳～北穂高岳(2)
9/10 小川山(廻り目平キャン プ場周辺の岩場)(7)	9/19 湯檜曾川/東黒沢白毛門沢(3)	9/23 北アルプス集中 表銀座 燕～大天井～槍(4)
9/10 廻り目平キャンプ場周辺ハ イキングコース(1+2)	9/19 越沢バットレス(2)	9/23 唐松岳～白馬岳～朝日岳(4)
9/11 谷川岳西黒尾根(2)	9/19 丹沢ノ塔ノ岳(1)	9/23 越沢バットレス(2)
9/11 葛葉川本谷(1+6)	9/19 湯河原幕岩(2)	9/23 前穂高岳北尾根(1+3)
9/10 甲府幕岩・小川山(1+3)	9/23 湯河原幕岩(2)	

雪童山の会 <http://yukiwarabe.main.jp/wp/>
報告:神谷佳宏 計12名(男8 女4)平均43歳

9/4 鷹取山(2)	9/12 丹沢山(2)	9/24 両神赤岩尾根(2)	10/8-10 屏風岩東稜
9/8 例会(8)	9/17-19 北鎌尾根(3)	9/25 小川山ツラマヌブ 周	10/8-10 明神岳東稜
9/10-11 清津川釜川右俣	9/18 鷹取	辺(5)	10/13 例会
(2)	9/22-25 立山室堂周辺(2)	9/28 例会(10)	10/26 例会
9/10-11 片品川大雑沢(2)	9/23-24 中ア西横川御岳	10/1 鷹取(3)	
9/10-11 一ノ倉南稜(2)	鈴ヶ沢(3)	10/2 三つ峠(3)	
9/10-11 小川山(2)	9/23-24 富士山(2)	10/1-2 小川山	

事故や怪我の報告

9月17 19日北鎌尾根。3人パーティーで北鎌のコルからP8への樹林帯の急登で左足を置いた岩が崩れ、右手の石が剥がれ数メートル滑落した事故が発生しました。事故者は当初怪我が確認できず行動を続行、下山後、肋骨亀裂骨折と分かる。例会において事故報告と総括を行う。事故原因については、フルボッカでの岩稜経験の不足と注意不足による。事故後の対応はパーティーによる安全地帯までの移動、そして怪我の確認や行動続行の確認がなされており問題なし。総括に関しては、全員で意見交換を行うことで報告書は省略。特別基金の申請はありません。

やま+ +

<http://yamaplpla.hustle.ne.jp/xoops/>
報告: 栗田 彰 計16名(男11:女5) 平均51歳

9/14 例会	9/28 例会	10/9 奥武蔵	10/26 例会
9/23-24 やま++祭&雪頭ヶ岳(マイナー)(14+2)	10/4-5 栗駒山・安達太良山	1012 例会、10/23 RCT	1029 明神ヶ岳～金時山

山ブキの会

報告: 青柳百合子 計7名(男:女7) 平均65歳

8/2 陣馬山	9/21 蕎麦粒山 中止	9/23-25 東日本震災支援 ボランティア	10/5-6 木曾駒ヶ岳
8/10-12 仙丈ヶ岳	9/18 大山	9/30 弘法山-念仏山	10/23 三ノ塔
8/22-25 奥穂高	9/23 景信山		10/26 黒川鶏冠山

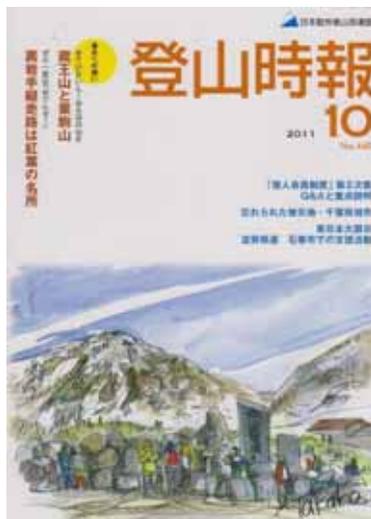
M & C

<http://blog.mandc.moo.jp/>
報告: 岡崎広士 計7名(男5:女2)

9/4 鷹取(4+1)	9/10-11 谷川岳一の倉沢(1+1)	9/24-25 穂高屏風岩(3)
9/8 みずがき末端壁(2)	9/18 鷹取(1+4)	

登山時報 10月号 目次
きてけさいん!おらほの山さ
宮城 赤間弘記03
裏岩手縦走路は紅葉の名所
ぜひ一度は「おでんせ!」
岩手 平井正06
連載 クイズ地図読み迷人
村越真 宮内佐季子09
野鳥との出会い カケス
福井壽彦 小枝琢三10
シグナル 大震災支援と長崎の原爆の日
斉藤義孝12
忘れられた被災地・千葉県旭市
中島典子13
困った時の友こそ真の友
滋賀県連 石巻市での支援活動
北村昌文 秋田誠14
第2次案「個人会員制度」Q & A
と重点説明 全国理事会16
連載 碧い南の島だより
雨宮節21
世界遺産「春日山原始林」では今、何

が 西岡末徳22
石川県連第3回ステップアップ講習会
山崎浩二 内島有副24
山のファーストエイド vol.8
恵秀彦26
JWAFクリック28
全国連盟の活動31
専門委員会活動報告32
編集後記34
インタビュー ひと
高橋清輝さん 鹿野谷博幸35
地元会員特選ミニガイド
群馬・高反山/矢崎辰雄
高知・甚吉森/森田南海男 36
ブックエンド 『高尾山登山詳細図』
ほか 石川友好 ほか38
会報えつらん室 海外編
伊藤ちはる40
オススメ山道具 ボルダースポーツ
笹原芳樹42



ナマステメールニュース Vol.38 [2011/10/3]

- 1: 登山優待施設最新情報/日本アルプス版(紅葉・イベント・小屋情報)
- 2: 平成23年度安全登山普及指導者中央研修会第2回/日本スポーツ振興センター
- 3: 山岳文化&トイレスンポジウム全国大会in石鎚/全国大会in石鎚実行委員会
- 4: 第15回上高地懇談会/信州大学山岳科学総合研究所
- 5: 特別実証区情報 / 特別実証区各地方連盟ホームページ
- 6: 地方・山系別リアルタイム雨量情報 (No.21)
- 7: トピックス / 福島土壌調査 大阪大学核物理研究センター

県連のスケジュール

10月			11月			12月		
1	土	ハイキングL学校実技 全国救助隊交流集会 県連救助隊訓練	1	火		1	木	
2	日	ハイキングL学校実技 全国救助隊交流集会 県連救助隊訓練	2	水	アルパインL学校机上	2	金	
3	月	常任理事会	3	木	全国評議会 救助隊スタッフミーティング	3	土	アルパインL学校実技
4	火		4	金		4	日	アルパインL学校実技
5	水	アルパインL学校机上	5	土		5	月	常任理事会
6	木		6	日	ハイキングL学校実技 救助隊セルフレスキュー	6	火	
7	金		7	月	常任理事会	7	水	
8	土		8	火	事務局長会議	8	木	
9	日		9	水		9	金	
10	月	連盟news印刷	10	木		10	土	
11	火	事務局長会議	11	金		11	日	
12	水		12	土		12	月	
13	木		13	日		13	火	事務局長会議
14	金		14	月		14	水	
15	土	関東B自然保護集会 アルパインL学校実技	15	火		15	木	
16	日	関東B自然保護集会 アルパインL学校実技	16	水		16	金	
17	月		17	木		17	土	
18	火		18	金	ハイキングL学校修了式	18	日	
19	水	事務局部会	19	土	全国自然保護会議	19	月	
20	木	ハイキングL学校机上	20	日	全国自然保護会議	20	火	
21	金		21	月		21	水	事務局部会
22	土		22	火		22	木	
23	日	ハイキングL学校実技	23	水		23	金	
24	月		24	木		24	土	
25	火		25	金		25	日	
26	水		26	土	全国海外登山集会	26	月	自然保護委員会
27	木		27	日		27	火	
28	金		28	月	自然保護委員会	28	水	
29	土		29	火		29	木	
30	日	自然再生シンポジウム	30	水	アルパインL学校机上	30	金	
31	月	自然保護委員会				31	土	

2011年度の全国的な規模の集会・会議予定

確保の基礎技術講習	10/2 12/4(相模原市)
関東ブロック自然保護交流集会	10月15日～16日
全国評議会	11月3日
全国自然保護担当者会議	11月19～20日(日光市)
全国海外登山集会	11月26日